

CHANNEL

HPMA Spotlight Artist Showcase

注目作家紹介プログラム チャンネル 15

森山未来、梅田哲也 ^{はしけ}《**舂**》

2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）

※この期間中の特定の日時のみ公開予定（要事前申込）

詳しい予約開始日、実施日程、申込方法等は、本展サイトをご覧ください。

https://www.artm.pref.hyogo.jp/exhibition/channel15_moriyamaumeda/

開催趣旨

「注目作家紹介プログラム チャンネル」は、兵庫県立美術館が2010年度より開催してきたシリーズ展です。当館が今こそ紹介したいと考える注目作家を取り上げ、同時代を生きる作家と来館者がさまざまな「チャンネル」を通じ出会う機会になることを目指しています。

2025年1月17日で阪神・淡路大震災から30年となることから、2024年度の第15回は特別展「1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち」と連動する特別な回とします。2つの展覧会は会期を合わせ、チャンネル15には特別展にも参加する森山未来と梅田哲也を招き、二人の共同プロジェクトを館内のさまざまな場所で展開します。

兵庫県出身でダンサーや俳優として領域をまたぎ身体的表現を展開する**森山未来**（1984- ）は、10歳の時に震災を経験し、2010年には震災15年目を描いたテレビドラマ「その街のこども」（NHK）にも主演しています。近年、レジデンス施設「Artist in Residence KOBE (AiRK)」を発足させるなど神戸の芸術振興活動にも取り組む中で、森山は多くの魅力的な人や場に出会います。よりクリエイティブなつながりや展開を企図する森山の呼びかけに、今回、**梅田哲也**（1980- ）が応えます。梅田は熊本県出身で大阪を拠点に、インスタレーションやパフォーマンス、音響作品などの発表を国内外で続けるアーティストです。その場に元々ある物やシステムを生かした梅田の作品は、光や音、動きや展開の意表をつく面白さで一気に観客を引き寄せ、その場ならではの時空の深みへと誘います。

今回は、それぞれに領域を横断し活躍する二人が、**美術館を拠点に共同で制作と発表を行う初の機会**となります*。ジャンルを超えたスペシャルなコラボレーションにより、震災30年目の今そしてこれからを生きる人々の間に、さまざまな「チャンネル」を開くことを目指します。



参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未来ほか



参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未来ほか 撮影：天野祐子

*これまでの共演

『プレイタイム』

シアターコクーン（東京、渋谷）にてコロナ下の2020年7月に収録、ライブ配信された舞台。

出演：森山未来ほか、構成・演出：梅田哲也。

「梅田哲也 イン 別府『O滞』」

個展形式の芸術祭『in BEPPU』の第5回として2020-21年に別府市内各所で開催（2021-22,23,24年にも再公開）。招聘作家：梅田哲也、映像作品『O滞』に森山未来が出演。

本展のみどころ

- ✔ 森山未来と梅田哲也という、ともにジャンルを超えて活躍する2人の、**美術館では初のコラボレーション**。震災から30年目の神戸でリサーチを行い、新作を制作、発表します。
- ✔ 阪神・淡路大震災を経験した**森山未来**と、発表の場と深く交わる作品で知られる**梅田哲也**。震災との距離感が異なる2人の共同作業により、日常の中にありながら見過ごされている世界への新たな入口を開きます。
- ✔ 震災30年の節目にあたり、企画展示室での特別展「1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち」をはじめ、常設展示室でのコレクション展、Ando Gallery など、**同時期に館内各所で関連企画を開催**し、全館一体となった取り組みを行います。



神戸市内にて



兵庫県立美術館にて

作家略歴

森山未来（1984年生、兵庫県出身）

5歳から様々なジャンルのダンスを学び、15歳で本格的に舞台デビュー。2013年文化庁文化交流使としてイスラエルに1年間滞在、ヨーロッパ諸国で活動。「関係値から立ち上がる身体的表現」を求め領域横断的に国内外で活動を展開。俳優として日本の映画賞を多数受賞。ダンサーとして第10回日本ダンスフォーラム賞受賞。東京2020オリンピック開会式ではオープニングソロパフォーマンスを担当。2022年神戸市にArtist in Residence KOBE(AiRK)を設立、運営に携わる。



Photo : Miyamoto Takeshi

梅田哲也（1980年生、熊本県出身）

大阪を拠点に活動。現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。2023年度にはワタリウム美術館で個展「wait this is my favorite part」を開催。同年、芸術選奨文部科学大臣新人賞、Tokyo Contemporary Art Awardを受賞。



Photo : Tanaka Chihiro

開催情報

- 展覧会名** 注目作家紹介プログラム—チャンネル15 森山未来、梅田哲也《舂（はしけ）》
- 会 期** 2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）
※この期間中の特定の日時のみ公開予定（要事前申込）
詳しい予約開始日、実施日程、申込方法等は、本展サイトをご覧ください。
https://www.artm.pref.hyogo.jp/exhibition/channel15_moriyamaumeda/
- 会 場** ギャラリー棟1階 アトリエ1、KOBELCOミュージアムホール
- 観 覧 料** 無料
- 主 催** 兵庫県立美術館
- 協 賛** 公益財団法人伊藤文化財団
- 協 力** 神戸大学都市安全研究センター、神戸フィルムオフィス、日本サービス株式会社、摩耶山再生の会、まやビューライン（摩耶ロープウェー・摩耶ケーブル）、Artist in Residence KOBE（一般社団法人ハイム）
- 助 成** 公益財団法人中内カコンベンション振興財団

- 【交通案内】**
- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
 - ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅から神戸市バス（29、101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



<同時開催の展覧会>

- 阪神・淡路大震災30年 企画展「1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち」
2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）
- コレクション展Ⅲ あれから30年—県美コレクションの半世紀
2025年1月7日（火）～ 4月6日（日）

<横尾忠則現代美術館で同時開催の展覧会>

- 阪神・淡路大震災30年 横尾忠則の人生スゴロク展
2025年1月17日（金）～ 2025年5月6日（火・振休）

<Ando Gallery>

入場無料（当館2階）



<近日開催のイベント>

■HART TALK 館長といっしょ！Vol.14

彫刻家 青木野枝さんをお迎えして 一兵庫県立美術館への屋外作品設置を終えて

日時：2025年1月11日（土）14:00～15:30（受付開始13:30）

場所：兵庫県立美術館 KOBELCOミュージアムホール

事前申込制、定員100名、参加無料（要コレクション展観覧券）

申込みフォーム <https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1732769588214>

■講演会 安藤忠雄「震災30年—まちは人がつくる」

日時：2025年1月12日（日）13:00～（開場12:30～）

会場：KOBELCOミュージアムホール

定員：150名（要本展観覧券（半券可）） ※受付は終了しました。

■コレクション展「無料」観覧日 ※公益財団法人伊藤文化財団の協賛により「無料」でご覧いただけます。

1月12日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日

1月17日（金）ひょうご安全の日

2月9日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日

3月9日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日

広報画像申込書

ご希望画像にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、お申込書を e-mail または FAX にてお送りください。
申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Eメール： press@artm.pref.hyogo.jp

FAX送付先：078-262-0903

<input type="checkbox"/>  <p>参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年 役者：森山未来ほか</p>	<input type="checkbox"/>  <p>参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年 役者：森山未来ほか 撮影：天野祐子</p>
<input type="checkbox"/>  <p>《解》および《浮標》制作風景 撮影：渡邊寿岳</p>	

●貴媒体の情報をご記入ください。

- 媒体名(番組・雑誌名等).....
- 媒体種：新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他(.....)
- 掲載・放送予定日：..... ○参考 URL.....
- 原稿確認予定日：.....
- ※WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。： コピーガード対応 可・不可

●申請者の情報をご記入ください。

- 貴社名：.....
- 所在地：〒.....
- ご担当者名：.....
- メールアドレス：.....
- 電話番号：.....

【 画像使用に際しての注意事項 】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
- 作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。
- 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載媒体を 1~2 部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「企画・広報担当」宛にお送りください。
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

